

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2023年8月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 木村 有仁

問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長

（氏名） 篠崎 史朗

（TEL） 03-5822-6170

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,611	△17.6	834	△43.1	820	△54.1	552	△55.1
2023年3月期第1四半期	9,232	11.1	1,466	△1.8	1,788	21.2	1,229	20.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	69.61	—
2023年3月期第1四半期	154.97	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	52,087	20,039	38.5
2023年3月期	51,105	19,641	38.4

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 20,039百万円 2023年3月期 19,641百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	16,000	△8.9	1,300	△54.4	1,250	△61.9	800	△64.4	100.79
通期	34,500	1.0	2,600	△47.7	2,500	△51.2	1,600	△58.2	201.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があります。修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	8,143,390株	2023年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	206,502株	2023年3月期	206,467株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	7,936,913株	2023年3月期1Q	7,936,923株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期会計期間及び当第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第1四半期累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、持続的なインフレや各国の政策金利の高止まりなど、景気減速懸念が強まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことなどにより、個人消費やインバウンドなどのサービス需要が回復したことに加え、企業の設備投資活動も増加し、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高騰、それに伴うインフレ影響や海外景気の下振れリスク等、先行き不透明な状況が続いております。

当社事業の主要市場である電子材料業界は、自動車向け半導体は堅調であるものの、コロナ禍で蓄積された電子部品の過剰在庫の解消と、世界的な物価上昇に伴う消費の落ち込みから、全体としては需要の減退が続きました。

このような状況のもと、半導体需要の低迷や顧客サプライチェーン上の在庫調整の長期化などの影響を受け、当第1四半期における売上高は7,611百万円（前年同期比△1,621百万円、△17.6%）と減少しました。

利益面につきましては、継続的な生産性改善や売上高減少に対応したコスト削減活動などに取り組んだものの、生産量減少、生産工程の複雑化・長期化、原燃料価格の高止まり、需要回復後を見据えた生産能力の増強や先端領域向け技術開発などの費用増加により、営業利益は834百万円（前年同期比△631百万円、△43.1%）、経常利益は820百万円（前年同期比△967百万円、△54.1%）、四半期純利益は552百万円（前年同期比△677百万円、△55.1%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (感光性材料事業)

半導体向け材料は、半導体需要低迷がさらに進み、顧客での在庫調整に連動して当社への需要も減少し、売上は減少しました。ディスプレイ向け材料は、中国を中心に大型液晶パネル生産の回復が見られ、在庫調整以前に近いレベルまで需要が回復しました。しかしながら、半導体向け材料の需要減少をすべて補うまでには至りませんでした。

この結果、同事業の売上高は4,832百万円（前年同期比△678百万円、△12.3%）、営業利益は574百万円（前年同期比△423百万円、△42.4%）となりました。

#### (化成成品事業)

電子材料関連製品は、中国の景気減速や世界的なインフレによるスマートフォンやPCなど、民生品向け需要の低迷からサプライチェーン上の在庫調整が長期化しており、売上は減少しました。

香料材料関連製品は、当社製品の主な用途であるトイレタリー向け香料の需要軟化に反転がみられたものの、前年同期比では売上が減少しました。

ロジスティック関連は、サプライチェーン上の在庫調整から、荷動きの低迷が継続しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は2,778百万円（前年同期比△942百万円、△25.3%）、営業利益は260百万円（前年同期比△207百万円、△44.4%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は52,087百万円となり、前事業年度末比982百万円の増加となりました。

流動資産は22,428百万円で、前事業年度末比743百万円の増加となりました。これは受取手形及び売掛金127百万円の減少、商品及び製品606百万円の増加などによるものであります。

固定資産は29,659百万円で、前事業年度末比238百万円の増加となりました。これは主に取得による増加1,100百万円、減価償却による減少719百万円によるものであります。

流動負債は20,966百万円で、前事業年度末比1,414百万円の増加となりました。これは主に短期借入金2,200百万円の増加、設備関係未払金695百万円の増加によるものであります。

固定負債は11,081百万円で、前事業年度末比830百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金861百万円の減少によるものであります。

純資産合計は20,039百万円で、前事業年度末比397百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益552百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,252	3,510
受取手形及び売掛金	5,912	5,785
商品及び製品	8,351	8,957
仕掛品	347	309
原材料及び貯蔵品	3,060	2,995
その他	767	875
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	21,685	22,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,833	10,654
機械装置及び運搬具(純額)	7,914	7,573
土地	4,912	4,912
建設仮勘定	3,244	4,096
その他(純額)	734	735
有形固定資産合計	27,639	27,972
無形固定資産		
その他	607	654
無形固定資産合計	607	654
投資その他の資産		
その他	1,172	1,031
投資その他の資産合計	1,172	1,031
固定資産合計	29,420	29,659
資産合計	51,105	52,087
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,943	4,143
短期借入金	5,100	7,300
1年内返済予定の長期借入金	3,481	3,356
設備関係未払金	3,713	4,408
未払法人税等	477	111
賞与引当金	792	415
その他の引当金	50	12
役員退職慰労引当金	1	—
その他	990	1,217
流動負債合計	19,551	20,966
固定負債		
長期借入金	9,312	8,450
退職給付引当金	1,888	1,930
役員退職慰労引当金	90	93
その他	620	607
固定負債合計	11,912	11,081
負債合計	31,463	32,047

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618	1,618
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	16,488	16,882
自己株式	△92	△92
株主資本合計	19,556	19,950
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85	102
繰延ヘッジ損益	—	△13
評価・換算差額等合計	85	89
純資産合計	19,641	20,039
負債純資産合計	51,105	52,087

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	9,232	7,611
売上原価	6,703	5,757
売上総利益	2,529	1,853
販売費及び一般管理費	1,063	1,019
営業利益	1,466	834
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
為替差益	329	—
受取家賃	7	6
補助金収入	—	0
その他	10	3
営業外収益合計	351	15
営業外費用		
支払利息	26	26
為替差損	—	0
その他	2	2
営業外費用合計	29	29
経常利益	1,788	820
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	11	15
特別損失合計	11	15
税引前四半期純利益	1,777	804
法人税、住民税及び事業税	273	87
法人税等調整額	273	164
法人税等合計	547	252
四半期純利益	1,229	552



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,511	3,721	9,232	—	9,232
外部顧客への売上高	5,511	3,721	9,232	—	9,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	73	73	△73	—
計	5,511	3,795	9,306	△73	9,232
セグメント利益	998	467	1,466	—	1,466

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,832	2,778	7,611	—	7,611
外部顧客への売上高	4,832	2,778	7,611	—	7,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	80	80	△80	—
計	4,832	2,858	7,691	△80	7,611
セグメント利益	574	260	834	—	834

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。